

# マテリアリティ進捗報告（2021年度）

2021年4月、ニッポンハムグループは「Vision2030」の実現に向けて優先的に解決すべき社会課題を「5つのマテリアリティ（重要課題）」として特定しました。そして持続可能な社会の実現に向けて「5つのマテリアリティ」を達成するための施策・指標を決定し、取り組みを推進しています。

こちらでは定量目標があるものを中心に、2021年度の進捗を報告します。

## たんぱく質の安定調達・供給



| 施策                                  | 指標  | 2021年度実績  |
|-------------------------------------|---|---|
| CSR調達の推進                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2030年度までに重要な一次サプライヤーへの方針周知とSAQ実施。目標100%</li> <li>・重要な二次サプライヤーへの方針周知とSAQ実施</li> <li>※SAQ・・・自己評価アンケート</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要な一次サプライヤーへのSAQ実施率 99.4%</li> <li>※対象範囲：日本ハム（株）、日本ルナ（株）、（株）宝幸、マリンフーズ（株）</li> <li>・海外の重要な一次サプライヤーへの方針周知は実施中。</li> </ul>   |
| アニマルウェルフェアに配慮した取り組みの推進              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内全農場の妊娠ストールの廃止（豚）（2030年度末まで）</li> <li>・国内全処理場内の係留所への飲水設備の設置（牛・豚）（2023年度末まで）</li> <li>・国内全農場・処理場への環境品質カメラの設置（2023年度末まで）</li> <li>※ニッポンハムグループが資本を過半数保有する企業が対象</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニッポンハムグループ アニマルウェルフェアポリシー・ガイドラインを制定</li> <li>☞<a href="#">アニマルウェルフェアポリシー・ガイドラインはこちら</a></li> <li>・国内全農場の妊娠ストールの廃止（豚）</li> <li>進捗率：9.5%</li> <li>※飼育頭数における割合</li> <li>・国内全処理場内の係留所への飲水設備の設置（牛・豚）</li> <li>進捗率：「牛」50.0% 「豚」62.5%</li> <li>※工場数における割合</li> <li>・国内全農場・処理場への環境品質カメラの設置</li> <li>カメラの設置に向けた場所の選定中</li> </ul> |
| 植物由来のたんぱく質商品の拡充拡販                   | 2030年度 出荷金額：100億円   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷金額：2.3 億円（昨比128.1%）</li> <li>☞<a href="#">植物由来原料使用の主力商品「ナチュラルミートシリーズ」のブランドサイトはこちら</a></li> </ul>  |
| 第三者認証の取得推進（FSSC22000、SQF、BRC、JFSなど） | ※策定中  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者認証取得数：142件</li> <li>☞<a href="#">取得認証の詳細はこちら</a></li> </ul>  |
| 専門技術認定をはじめ研修を通じた人材育成                | ※策定中  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・e-ラーニング修了者：3,753名</li> <li>・基礎技術研修修了：70名</li> <li>・新規認定専門家合格者：4名</li> <li>・新規食品表示検定合格者：91名</li> <li>☞<a href="#">品質保証技術向上のための人材育成についてはこちら</a></li> </ul>  |

## 食の多様化と健康への対応



| 施策                    | 指標                    | 2021年度実績  |
|-----------------------|-----------------------|---|
| 食物アレルギー関連商品の拡充及び啓発    | 2030年度 出荷金額40億円       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷金額実績：10.8億円</li> <li>☞<a href="#">食物アレルギー対応商品一覧はこちら</a></li> <li>・食物アレルギーケア総合プラットフォーム「Table for All」サービス開始</li> <li>☞<a href="#">「Table for All」のサイトはこちら</a></li> </ul> |
| 認知機能を改善する新たな素材の研究と商品化 | 2026年度までに年間300万食相当を供給 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・疲労感の軽減と記憶力の維持を目的とした機能性表示食品IMIDEA（イミディア）販売開始（2021年12月1日～）</li> <li>☞<a href="#">IMIDEA（イミディア）のサイトはこちら</a></li> </ul>   |
| 健康に寄与する商品の開発          | ※策定中                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康志向に対応した商品数：64アイテム</li> </ul>  |

# 持続可能な地球環境への貢献



| 施策                                    | 指標  | 2021年度実績                                  |
|---------------------------------------|---|---|
| 化石燃料由来のCO <sub>2</sub> 排出量の削減         | 2030年度までに46%以上削減（2013年度比）<br>2030年度目標削減値：253,239 t-CO <sub>2</sub><br>基準値：550,518 t-CO <sub>2</sub>       | 削減量：70,453 t-CO <sub>2</sub><br>進捗率：27.8% |
| 廃棄物排出量の削減                             | 2030年度までに5%削減<br>（2019年度比：製造数量当たりの原単位）<br>2030年度目標削減値：6.7 kg/t<br>基準値：134.6 kg/t                          | 削減量：9.9 kg/t<br>進捗率：147.8%                |
| 廃棄物排出量リサイクル率の向上                       | 2030年度までにリサイクル率92%以上  | リサイクル率：93.0%                              |
| 水使用量の削減                               | 2030年度までに5%削減<br>（2019年度比：製造数量当たりの原単位）<br>2030年度目標削減値：0.8 m <sup>3</sup> /t<br>基準値：15.2 m <sup>3</sup> /t | 削減量：0.2 m <sup>3</sup> /t<br>進捗率：25.0%    |
| 認証パーム油への切り替え                          | 2030年度までにRSPO認証パーム油<br>使用率100%（ブックアンドクレーム含む）  | 使用拠点・商品を検討中                               |
| 環境配慮型資材（再生素材やバイオマス素材等）の使用や包装資材等の使用量削減 | ※策定中  | 実績集約中                                     |

# 食やスポーツを通じた地域・社会との共創共栄



| 施策   | 指標   | 2021年度実績                                    |
|--|------|---|
| スポーツを通じた地域共創の活動の推進<br>（北海道新球場、スポーツ教室、食育教室など） | ※策定中 | 実施件数：198件<br>参加人数：38,336人<br>活動経費：439,457千円 |
| 文化的活動を含めた地域貢献活動の推進<br>（地域イベントへの協力や清掃活動など）    |      | 実施件数：246件<br>参加人数：1,742人<br>活動経費：186,994千円  |
| 食を通じた社会福祉活動の推進<br>（フードバンクや子ども食堂への食材提供など）     |      | 実施件数：145件<br>活動経費：21,490千円                  |
| 食育等を通じた次世代育成の支援<br>（出前授業、キャリア教育支援、手作り体験教室など） |      | 実施件数：60件<br>参加人数：10,602人<br>活動経費：4,915千円    |

# 従業員の成長と多様性の尊重



| 施策  | 指標   | 2021年度実績   |
|---|------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>仕事に対するやり甲斐の支援</li> <li>挑戦できる組織風土の醸成</li> <li>公正な評価と処遇への取り組み など</li> </ul>                        | ※策定中 | 【公正な評価と処遇への取り組み】※日本ハム（株）<br>・MBO（目標管理制度）評価対象者の比率：100.0%<br><br>【女性活躍の推進】※日本ハム（株）<br>・女性従業員比率：28.4%※正規従業員のみ<br>・女性管理職比率：8.5%<br><br>【育児、介護、障がい者など支援の取り組み推進】<br>※日本ハム（株）<br>・育児休業からの復職率：98.5%<br>・障がい者雇用率：2.7% |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>女性活躍の推進</li> <li>育児、介護、障がい者など支援の取り組み推進</li> <li>総労働時間の削減</li> <li>人権デューデリジェンス体制の構築 など</li> </ul> |      |  |